

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	314鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり		
施策のねらい (めざす姿)	地域で話し合いがされ、愛着の持てる魅力あるまちの実現を目指しています。 魅力あるまち並みや恵まれた自然を活かした景観づくりが進められています。		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	上位計画との整合に留意し、適正な将来予算に即した景観計画を立案することにより、変更や見直し作業が縮減できる。	③改革・改善内容	今後、条例の施行に伴い、工作物、建築物などの行為に対する事前協議及び届出の内容審査を行い、景観計画と整合させる。
②①に基づく取り組み結果	景観計画を策定した後、景観条例を施行するとともに、景観ガイドラインを作成し広く景観計画、条例について周知した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、行政	意図(対象をどうするのか)	良好な景観形成の実現
②施策の概要	景観計画による良好な景観形成のための行為の制限により、良好な景観づくりを進め、魅力あふれるまち並みづくりを行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民と協働し、市民、事業者及び行政の景観意識を高める取り組みや活動を行う。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	平成25年度景観計画の策定、平成26年度景観条例の制定。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	市の景観への満足度(市民意識調査)	%	—	25.3	—	28.0
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	景観づくり地域活動団体認定数	団体	0	0	0	増加
	ii	景観計画、景観条例の策定		0	1	1	1
	iii	景観条例の適用数	件	—	—	—	—
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	4,851	3,874	(単位:円)	36円	4,655		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	景観に対する意識については、市民に浸透が薄いことから、シンポジウムや景観セミナーなどを開催し、意識を高める取り組みが必要と考える。		
②総合評価	1達成	③総合評価の理由	これまでに、市の景観に対する取り組みとして、景観行政団体への移行、景観計画の策定と条例を施行し、景観行政の第1歩を踏み出した。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	景観形成事務に要する経費		
④上記方向性の説明	平成27年度に景観条例が施行になり今後、市民及び事業者に良好な景観づくりについて、意識の向上を行い、更に魅力あるまち並みづくりを行っていく必要がある。		